

桔梗きぎよつのはなし

斎藤 静香

あわい青紫の小さき蕾の二つ三つ
紙風船のようにふくらんで
はじけるのを待つ桔梗よ
ここまで来るのに
君にどんな哀しみか
あつたのだろうか

容赦のない雨に打ちのめされ

地に這い頭こゝろを垂れ、

きまぐれな風にもてあそばれ
一晩中、揺れやまず
冷たき言の葉吐かれて踏まれ
傷だらけになつて地に横たわり

それでも地の隅から
星ぼしを仰ぎ
太陽の姿を追いかけて
涼しくなる夕べに祈りをささげ
たった一つの願いを守り続ける

そんな君は今や
秋の冷気を貴婦人のように装い
花を咲かせる時を待つ

君は苦しかった日々を心奥に沈め
あわい青紫の希望に変えて
しずかに花をひらかせる

桔梗、君はそんな日々を語らない
だけど我は
そんな君と語りたい